

警察署協議会議事概要

協議会名	神奈川県相模原南警察署協議会
日 時	令和5年10月27日（金）午後2時から午後4時30分までの間
場 所	神奈川県相模原南警察署
出席者	<p>1 警察署協議会側 井上武志、友部徳寿、中村洋子、川村卓正、本橋明彦、古賀幸枝、富濱洋一郎、益子麻由実 計8人</p> <p>2 警察署側 署長 板垣稔、地域担当次長 横川博二、調査官 比留間大祐、生活安全課長 松岡健一 刑事第一課長 天野秀樹、刑事第二課長 梁島弘貴、交通課長 森充、警備課長 齋藤敏雄 計8人</p>
議事要旨	警察署協議会からの答申等に対する措置結果の説明
	「特殊詐欺撲滅対策」について
	<p>1 答申</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 受け子は犯罪であることを認識させる。 ・ 今までやってきたキャンペーンの分析をし、より効果のあるキャンペーンを実施する。 ・ 印象に残るインパクトのあるチラシが効果がある。 ・ 高齢者に特殊詐欺のチラシと記念品を配布してほしい。 ・ 様々な職種・学校との連携や、孫世代から高齢者に対する声かけ等をするのが良い。 <p>2 措置結果</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 各種学校等での少年に対する防犯講話、特殊詐欺に加担しやすい若者に呼び掛けるキャンペーンを推進する。 ・ 通行量の多い駅や商業施設などでのキャンペーン、年齢を問わない、学生参加型の特殊詐欺抑止キャンペーンを効果的に推進する。 ・ あえて色を抑えて単語やキャッチフレーズなど、目を引くように工夫したチラシを作成し、様々な世代の方々に知っていただける、効果的なチラシ配布に努める。 ・ 通行中の高齢者の方々に対して、特殊詐欺抑止のチラシとともに、防犯グッズとして自転車のチェーン錠、記念品としての花の苗を配布して、孫世代から高齢者に対する特殊詐欺防止の呼び掛けを実施した。 ・ 防犯ボランティア活動に関する協定や、地域安全協定を、大学や企業等の団体と締結しており、引き続き、協力して特殊詐欺撲滅キャンペーンを実施していく。
	諮問
	「自然災害への備えと対策」について
答申	
	<ul style="list-style-type: none"> ・ 大きな災害が起きた際の道路の復旧について、建築業者との連携が必要ではないか。 ・ 災害発生時にはマンパワーが必要であり、事前に住民の協力を得られるようなシステム作りが必要ではないか。 ・ 関係機関との連携及び情報共有。 ・ 自治会での話し合いの場には、市や消防も参加しているので、警察も参加し、警察の災害対策について理解を得る。

業務説明

前四半期（令和5年7月から9月まで）の業務推進結果及び今四半期（令和5年10月から12月まで）の業務推進重点について説明を行った。